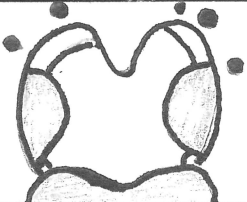


# ヘルパンギーナの治療を受けられる患者様へ

かとう小児科

	初診日	翌日以降
月日	月 日( )	
お薬	有 → 1日( )回( )日間で内服して下さい。  無	口の中の痛みが強い時は、熱が高くなくても痛み止めとして解熱鎮痛剤の坐薬を使っていたいてもかまいません。
診察	ヘルパンギーナの疑いのある方は、別室でお待ちいただくことがあります。	
症状(経過)	エンテロウイルス群というウイルスが原因です。 突然の発熱とのどの奥に水疱ができます。水疱がやぶけると潰瘍になり痛みを伴います。1週間程度で治ります。	 <p>丘疹→水疱→小潰瘍に変化する (大きさは1~4mm)</p>
食事	のどの痛みのために飲食できなくなることがありますが、のどにしみない食事や、水分を少量ずつ与えて下さい。(つると口に入るもの、薄味のもので熱すぎたり、冷たすぎたりせず人肌程度のもの。)	
入浴	発熱している間は、体力の低下を防ぐためにも避けてください。	
登園・登校 のめやす	<b>出席停止扱いになります</b> ので、園や学校へ連絡して下さい。	<p><b>登園、登校基準は熱が下がり、食事也十分できて元気な時</b>になっています。</p> <p>治癒証明書が必要な方は、園や学校所定の用紙をこの日に持ってきて下さい。</p> <p>※治ってから2週間ほど便の中に、ウイルスが排出されるので、他の子にうつすおそれがあります。この期間はプール遊びは他の子の為にも控えて下さい。</p> <p>(川、海遊びはかまいません。)</p>
その他	<p>夏季に発生する頻度が高いウイルス性疾患です。</p> <p>原因に対する治療法はありません。発熱やのどの痛みなどの症状を和らげる対症療法を行います。</p> <p>手洗い、うがいの励行を。</p>	